

「鼻・副鼻腔炎症性疾患についての検討」へのご協力をお願い

ー1980年4月1日から2025年3月31日までに当科において鼻・副鼻腔炎症性疾患の治療を受けられた方および受けられる方へー

研究機関名 姫路赤十字病院耳鼻咽喉科

責任研究者 姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科 部長 橘 智靖

分担研究者 姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科 医師 小松原靖聡 黒田一範

専攻医 直井勇人

1. 研究の意義と目的

鼻・副鼻腔は上気道の一部であり吸気において嗅覚、除塵（免疫）、加湿・保温、発声時には構音機能を司っています。医療の進歩により、感染に伴う鼻・副鼻腔炎は減少傾向にはあるものの、アレルギーによる好酸球性副鼻腔炎のように難病指定となった難治性疾患もあり、有効な治療法を模索している状態です。本研究の目的は、鼻・副鼻腔の炎症性疾患の成因や治療法を検討し、今後の鼻・副鼻腔炎症性疾患治療に還元することです。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

姫路赤十字病院耳鼻咽喉科で診療を行っている鼻・副鼻腔炎症性疾患の患者さま

2) 調査期間：

2013年1月22日から2025年3月31日まで

3) 研究方法：

- ・ 1980年4月1日から2025年10月31日までの間に当科において鼻・副鼻腔炎症性疾患と診断され治療を受けられた患者さまおよび受けられる患者さまで、研究者が診療情報をもとにデータを選び解析し、検査や手術で摘出した組織を用いて特殊な染色方法などを用いて予後因子を調べます。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、治療内容、血液検査や各種画像検査（X線、CT、MRI、PET/CT、超音波検査など）、手術記録、病理検査などの検査データ
- ・ 検査や手術で摘出した組織

5) 情報の保護：

調査情報は姫路赤十字病院耳鼻咽喉科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年3月までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にな

利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科

氏名：橘 智靖、小松原靖聡、黒田一範、直井勇人

電話：079-294-2251 ファックス：079-296-4050